

## 何でも読もう会

書物名	『忍ぶ川』 三浦哲郎	開催 日時	2022.5.3	推薦	清水
巻・章	全編		青少年セ	出席者	7名
<p>昭35年発表、翌年芥川賞受賞。</p> <p>作者夫婦それぞれの暗い生い立ちを背景にした恋愛私小説。事実は小説より奇なりを地で行った二人が結ばれる物語。</p> <p>恋愛のストーリー自体は貧乏学生と小料理屋の女の単純なものである。しかし、これまでの日本の私小説が背負ってきた暗さ、せつなさが少なく、澄明なすがすがしさに貫かれたところがいいとの意見が多かった。</p> <p>文章も綺麗で、構成が良かったとの評判だった。川端康成の透明な文章を思い起こしたという意見も。</p> <p>それにしても芥川賞選考委員のすごいこと。</p> <p>井伏、中村（光）、瀧井、石川、佐藤（春）、丹羽、永井（龍）、川端、井上（靖）、舟橋、宇野（浩）。文藝春秋（菊池寛）の影響力の大きいこと。</p>					